

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

RESULT

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年8月3日(日) 決勝

Mコート 第1試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA	65	27 - 16 18 - 15 13 - 20 7 - 11	62	チームB
延岡学園 宮崎				福岡第一 福岡

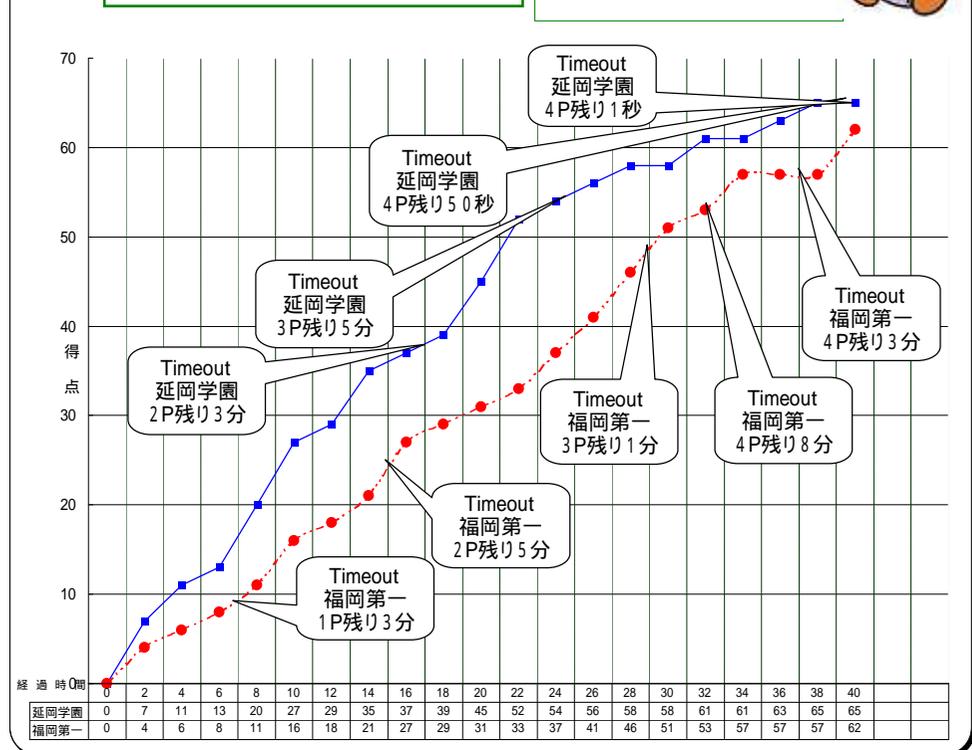
延岡学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	内村 祥也	X	2	0	0	1	5	0	0	2	2	4	2	1	2	0	37
5	シダット ジャーラ	X	12	0	0	6	8	0	0	4	1	13	3	0	1	3	33
6	和田 力也	X	18	1	5	7	19	1	4	2	1	5	5	3	5	0	40
7	永吉 佑也	X	18	0	2	7	12	4	4	2	2	1	2	0	3	0	40
8	川元 崇史	X	15	5	9	0	0	0	0	3	0	6	0	2	2	1	40
9	横瀬 孝樹	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
10	曾根田 夏樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	湯地 寛文	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	大坪 将太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	長谷場 祐二	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	中村 友哉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	エリマン ブイ	/	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	7
コーチ	北郷 純一郎	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	2	0	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			65	6	16	21	46	5	8	14	8	32	12	6	13	4	200
確率			37.5%	45.7%	62.5%	計		40									

福岡第一

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	田中 宏和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
5	仲本 翔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	狩野 祐介	X	7	1	8	2	5	0	6	4	1	2	0	1	3	0	36
7	石川 裕一	/	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
8	玉井 勇気	X	6	2	4	0	5	0	0	0	3	1	2	2	1	0	39
9	和田 直樹	X	11	3	5	1	3	0	0	4	0	0	1	1	1	0	38
10	セック エルハジ イブラヒム	X	21	0	0	10	18	1	7	3	8	12	6	4	2	4	40
11	早川 ジミー	X	13	0	1	5	14	3	6	2	2	6	1	1	3	0	34
12	岩下 真澄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	園 幸樹	/	4	0	0	2	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	5
14	山崎 翔	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
15	橋本 泰志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	井手口 孝	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	6	0	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			62	6	18	20	49	4	19	13	16	27	12	9	11	4	200
確率			33.3%	40.8%	21.1%	計		43									

2分毎による得点の推移



戦評

両チーム共に2度目の優勝を狙う決勝戦。毎試合ごとに安定感を増す福岡第一と、九州大会の決勝では、惜しくも6点差で敗れ、この大舞台で雪辱を晴らしたい延岡学園との一戦となった。

第1P、開始早々お互いゴール下での得意の攻撃で両チーム好スタートをきる。中盤福岡第一のミスを確実に得点に結びつけた延岡学園 #6 和田のカットイン、#8川元の連続3Pシュートもあり、11点差とする。

第2P、延岡学園 #6和田の3Pシュート、福岡第一 #9和田の3Pシュートと互角の戦いを続ける両チーム。開始4分この日4本目の3Pシュートを延岡学園 #8川元が沈め、16点差まで開く。福岡第一は1-3-1のマッチアップゾーンに変え、#6狩野、#9和田の3Pシュートもあり、10点まで詰め、流れを変えたが、終盤延岡学園も、#7永吉のゴール下の踏んばりで、14点差として、前半を終える。

第3P、福岡第一は#11早川の1対1などで追い上げを図るも、なかなか点差は詰まらない。残り4分、4つ目のファウルをした延岡学園 #5 ジャーラがベンチへ退くと、福岡第一 #10イブラヒムの速攻、#8玉井の3Pシュートなどで点差は一気に7点となり、第4Pへ。

第4P、開始3分、延岡学園の3-2ゾーンに対し、福岡第一は#10イブラヒム、#11早川のラインで4点差とする。ここで、延岡学園は#5 ジャーラを投入。ゲームは一気に重い展開へと変わる。残り1分をきり、延岡学園は#6和田がゲームコントロール。福岡第一は最後の粘りを見せ、残り0.2秒3点差で#6狩野が3本のフリースローを得るが1本目ははずし万事休す。延岡学園は、九州大会の雪辱を果たすと共に、3年ぶり2度目の優勝を果たした。

主審	相原 伸康	副審	藤垣 庸二	戦評	佐野 正 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロッキング